

＜事業概要報告＞

平成28年4月1日から

平成29年3月31日まで

I 概況

平成28年度4月から10月の事業活動は、展示部門では1階主展示室において春季（4/1～6/5）には「書を愛でる 茶の湯の掛物」を開催し、秋季（9/3～12/4）には「いとをかし 和もの茶わんの世界」と題し、館蔵名品等を展示致しました。

地階展示室においては、春の前期（4/1～4/17）「能面・能装束展」を、後期（4/19～5/29）には「清風明月 祥瑞・古染付の世界」と題し館蔵品の展示を行いました。

また個展として横井和子氏の「茶花 一器と花の出会い展」が開催されました。

秋の前期（9/3～10/16）には「王朝和歌のイメージ-工芸における歌銘・和歌絵・和歌書」後期には個展として李炳權氏の「徳泉の高麗茶碗」、金亮黙氏の「描かれた茶碗」等が開催され各展ともに好評でした。

展示部門以外では、地階ホールにおいて春季3回、秋季3回、計6回の講演会を催し、館外から石川九楊氏、山川暁氏、野口康氏、矢ヶ崎善太郎氏の各先生方と当館から学芸課長の桐山秀穂、館長の谷晃を講師とし、充実した講演会を開くことができました。

今期の入館者数は10,741名と、昨年度実績を2,369名（-18%）下回りました。

2016年12月より美術館リニューアル工事を開始し、平成29年春季展示を休館とした為です。引き続き平成29年秋季展、平成30年春季展を休館とする予定です。

II 各事業の実施状況

1. 展示部門

(1) 1階展示室

春季展

▶ 「書を愛でる 茶の湯の掛物」

【前期】 4月1日（金）～4月17日（日）

【後期】 4月19日（火）～6月5日（日）

＜解説＞

日本には古来より書を愛でる歴史がありました。まず美しい料紙に流麗に書かれた仮名の書が平安時代、貴族に賞翫されました。鎌倉時代には中国から禅宗が伝わり、その中で禅の高僧の書いた墨蹟は、高く清澄な境地を示しているとして尊ばれました。そして茶の湯では、古くより仮名の書も墨蹟も重んじられ、鑑賞されてきました。この展覧会では茶の湯で用いられた仮名の書と墨蹟の名品を展示します。仮名の書は平安時代から鎌倉時代の流麗さが特徴の優品を、墨蹟では中国の元代、日本の鎌倉時代から江戸時代の、力強い名筆を集めております。古典的な作品の数々から書の魅力に迫る展覧会です。

《主な展示作品》

- 前期** 伝小野道風筆 小島切・源兼行筆 梅尾切・藤原定家筆 二首色紙・夢窓疎石筆
靈光不昧偈頌・伝了庵清欲筆 偈頌・本阿弥光悦筆 宗達木版下絵和歌巻など
- 後期** 伝藤原行成・藤原公任筆 法華経断簡(4/19～5/8 展示)・伝藤原佐理筆 筋切
通切(5/10～6/5 展示)・【重文】伝紀貫之筆 寸松庵色紙(5/10～6/5 展示)・
寂蓮筆 熊野懐紙・【重文】宗峰妙超筆 白雲偈頌・無準師範筆 葺一字 など

秋季展

- ▶ 「いとをかし 和もの茶わんの世界」

【前期】 9月3日(土)～10月16日(日)

【後期】 10月18日(火)～12月4日(日)

<解説>

茶の湯で用いられる茶碗の中で、日本で作られたものは和物茶碗と呼ばれます。それには千利休の指導により楽長次郎が作り始めた楽焼、野々村仁清・尾形乾山らに代表される色彩豊かで雅な京焼、京都以外の諸国で作られた形の様々な国焼があります。楽焼には赤と黒があり、シンプルな形とデザインが特徴です。そして京焼は色絵が特徴です。赤、青、緑など豊かな色彩で桜や笹や唐松など雅なデザインが描かれています。国焼は、薩摩焼のように京焼の影響を受けたものがある一方、唐津焼や美濃焼など独自の肌や風合いのよさが強みの茶碗が創り出されました。いずれも日本的で多様な感性に育まれた茶碗で、「いとをかし」と感じる、つまり何故か強く心魅かれる茶碗といえるでしょう。優雅で華やか、または個性的でおもしろみのある茶碗の数々を御鑑賞いただけたら幸いです。

《主な展示作品》

- 全期間** 乾山 銕絵山水画讃茶碗、樂了入作 金入若松絵茶碗、伊賀茶碗
銘すね市三猿、永楽保全作 秋草絵茶碗など
- 前期** 楽長次郎作 赤楽茶碗 銘獅子、練上志野茶碗 銘猛虎、陳元賛作
染付山水図茶碗、栗田焼桜清水絵茶碗など
- 後期** 樂道入作 赤楽茶碗 銘若山、鼠志野茶碗 銘横雲、瀬戸唐津茶碗
銘冬の月、尾形周平作 仁清写秋草絵茶碗など

(2) 地階館蔵品展

- 「能面・能装束展」 4月1日(金)～4月17日(日)
- 「清風明月 祥瑞・古染付の世界」 4月19日(火)～5月29日(日)
- 「王朝和歌のイメージ—工芸における歌銘・和歌絵・和歌書」
9月3日(土)～10月16日(日)

(3) 個展

淡斎茶花研究会 代表 横井和子	5月31日(火)～6月5日(日)
「茶花一器と花の出会い展 第4回」	
李炳權氏	10月18日(火)～10月23日(日)
「徳泉の高麗茶碗」	
金亮黙氏	10月25日(火)～10月30日(月)
「描かれた茶碗」	
村田浩一郎氏個展	11月1日(火)～11月6日(日)
「土無窮 黒茶壺」	
田端志音氏個展	11月8日(火)～11月13日(日)
「和の器」	
黒田宗傳氏個展	11月15日(火)～11月13日(日)
「創業120周年記念 作品展」	
山岡徹山氏個展	11月22日(火)～11月27日(日)
「茶陶展」	
安永頼山茶陶展	11月29日(火)～12月4日(日)
「茶盃十二か月」	

(4) イベント 藪内竹風会茶会 5月28日(土)・29日(日) (美術品貸出)

2. 講演会、研修、茶会

・定期講演会 6回

日程	演題	講師	参加者
3月15日(火)	「古筆と墨蹟の見方・よみ方」	石川九揚氏 (京都精華大学客員教授)	91名
4月22日(金)	「茶入の話」	谷 晃 (野村美術館館長)	85名
5月20日(金)	「名物裂のふるさと」	山川 暁氏 (京都国立博物館教育室長)	74名
9月16日(金)	「金碧画の金箔と現代の金箔」	野口 康氏 (「箔屋野口」四代目当主)	73名
10月14日(金)	「近代数寄者の茶室」	矢ヶ崎善太郎氏 (京都工芸繊維大学准教授)	73名
11月25日(金)	「和の茶碗-楽焼・京焼そして国焼-」	桐山 秀穂 (野村美術館学芸課長)	67名

3. 各種講座（1階和室または地階ホール）
 - ・ 茶会記を読む会「松屋会記」 10回
 - ・ 古筆の会 10回
 - ・ 茶文化講座 6回
 - ・ 工芸を見る会 6回（新規講座：工芸の見方、鑑賞法について）

4. 館蔵品の補修（来年度予定）
 - 重要文化財指定 「清拙正澄筆 秋来偈頌」

5. 大学への出講
 - 谷 晃 京都造形芸術大学 非常勤講師
 - 桐山秀穂 同志社女子大学 非常勤講師

6. ギャラリートーク（開館中の土曜日に一般客へ学芸員より陳列品の説明を行う）
 - 4/9（20人）、4/23（5人）
 - 5/21（20人）
 - 9/17（20人）
 - 10/1（20人）、10/29（15人）
 - 11/19（5人）

7. 学芸員実習（7/11～7/15）
 - 学生 4名（京都女子大学1名、京都造形芸術大学2名、大谷大学1名）

8. 地域との連携
 - 京博連、岡崎魅力作り協議会、京都きものパスポート、京都市観光協会

9. 施設の改修及び閉館予定
 - 平成28年12月～平成29年11月 美術館改修工事を実施中。
 - 平成29年春季展・秋季展 及び平成30年春季展を休館の予定

10. 関連する美術館との相互割引
 - 泉屋博古館 9月5日～12月4日
 - 細見美術館 9月10日～12月4日
 - 9/5～12/4までの入館者数 384名

11. 新聞・書籍を通じての広報活動

日時	媒体名称	紹介展覧会名
4月	「京ごよみ」4月号	「書を愛でる 茶の湯の掛物」
5月	「SAVVY」5月号	〃
5月	「おふたいむ」5月号	〃
5月17日	京都新聞	〃
4月30日 5月7日	毎日新聞	〃
5月12日	日本経済新聞 夕刊	〃
9月	「京ごよみ」9月号	「いとをかし 和もの茶わんの世界」
9月	「京都館ニュース」9月号	〃
9月	「淡交」9月号	〃
9月	「なごみ」9月号	〃
9月	「茶道雑誌」9月号	〃
9月	「陶工房」82号	〃
9月	「おふたいむ」9月号	〃
9月	「岡崎手帖」2016秋号	〃
9月22日	朝日新聞	〃
9月～11月	「歳時紀行」9月号～11月号	〃
10月	KYOTO VISITOR'S GUIDE	〃
10月8日 10月20日 11月25日	京都新聞	〃
11月	「目の眼」11月号	〃
11月28日	読売新聞	〃

12. 入館者数

(単位：名)

	期間	平成28年度	平成27年度	比較
1	春季展(4月～6月)	3,838	5,152	-1,314
2	秋季展(9月～12月)	6,903	7,958	-1,055
合計		10,741	13,110	-2,369

13. 評議員会・理事会開催状況

評議員会

開催日	会議名	議案	結果
平成 28 年 6 月 16 日	第 6 回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度決算書類の承認 理事の選出 野村美術館改修計画 	承認可決

理事会

開催日	会議名	議案	結果
平成 28 年 5 月 12 日	第 19 回定時理事会 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度事業報告 平成 27 年度決算報告 第 6 回定時評議員会招集 その他固定資産を特定資産へ振替する件 基本財産運用益 1/2 を法人会計に振替 	承認可決
平成 28 年 6 月 16 日	第 20 回定時理事会	<ul style="list-style-type: none"> 定款 37 条に基づく議決権の行使 	承認可決
平成 28 年 11 月 18 日	第 21 回定時理事会 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度野村文華財団活動概要 	承認可決
平成 29 年 3 月 16 日	第 22 回定時理事会 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度事業計画 平成 29 年度収支予算 任期満了に伴う理事・監事の推薦 公印規程新設 役員等の報酬の支給基準の一部改訂 	承認可決

(注) 決議省略については、理事全員から書面による同意の意思表示を得、監事全員に書面により異議がないことを確認したため、理事会の決議があったものとみなした。